



ATA

- [新しい ATA \(1 ページ\)](#)
- [ATA に関連付けられたデバイス \(1 ページ\)](#)
- [Cisco ATA 191 ハードウェア \(2 ページ\)](#)
- [新しい ATA をインストール \(6 ページ\)](#)
- [電話アダプタ構成ユーティリティ \(6 ページ\)](#)
- [サポートされる ATA 通話機能 \(8 ページ\)](#)

新しい ATA

アナログ電話アダプタ (ATA) は、アナログ電話機や FAX 装置などのアナログデバイスをネットワークに接続するためのものです。接続したデバイスは、ネットワーク内の IP 電話のように機能します。

新しいアナログ電話アダプタ (ATA) には、2つのインターフェイスがあります。

- イーサネット用の RJ45 ポート

ATA 上に LED でステータスが示されます。

実行内容は次のとおりです：

- ATA を、同梱のコンポーネントと共に設置します。

ATA に関連付けられたデバイス

ATA を使用して、以下の種類のデバイスをネットワークに接続します：

- アナログ電話
 - アナログ電話機にはソフトキーがありません。
 - アナログ電話機に表示される情報は、実際のモデルに依存します。
 - 保留、再開、転送、会議電話には電話機のフラッシュ ボタンを使用します。

- アナログ テレフォニー音声デバイス
 - ATA では、オーバーヘッド ページング アダプタや留守番電話機など、通常の電話をエミュレートするアナログ テレフォニー音声デバイスがサポートされています。
- オーバーヘッド ページング システム
 - オーバーヘッド ページング システムは、建物内でのアラームや一斉放送を提供します。
- ファクス機
 - ATA に FAX 装置を直接接続して使用してください。FAX 装置には内線を接続しないようにしてください。また、FAX 装置にはスプリッタを使用しないでください。
 - FAX のエラーを減らすため、海外モードがあればそれを使用し、ない場合は FAX 装置の伝送速度を低く設定してください。
 - FAX 装置やモデムなどのデータ デバイスは、最適な状態で機能しないことがあります。FAX 装置やモデムで最良のパフォーマンスを実現するには、引き続き専用 PSTN 回線を使用するようにしてください。

Cisco ATA 191 ハードウェア

ATA 191 と 192 ATA は小型で設置しやすいデバイスです。

ユニットには、次のコネクタが装備されています。

- 5V DC 電源コネクタ。
- 2つの RJ-11FXS (Foreign Exchange Station) ポート - お使いの ATA には、任意の標準アナログ電話デバイスと動作する、2つの RJ-11 ポートがあります。各ポートは音声コールまたは FAX セッションのいずれかをサポートし、両方のポートを同時に使用できます。
- 1つの WAN ネットワークポート - RJ-45 10/100BASE-T データ ポートが 1つ装備されており、イーサネット対応デバイスをネットワークに接続できます。



(注) ATA のネットワーク ポートは、全二重モードや速度について自動でネゴシエーションします。10/100 Mbps の速度および全二重をサポートしています。

ATA 191 および ATA 192 上部パネル

次の図に、ATA の上部にあるさまざまな LED とボタンを示します。

図 1: ATA 191 および ATA 192 上部パネル

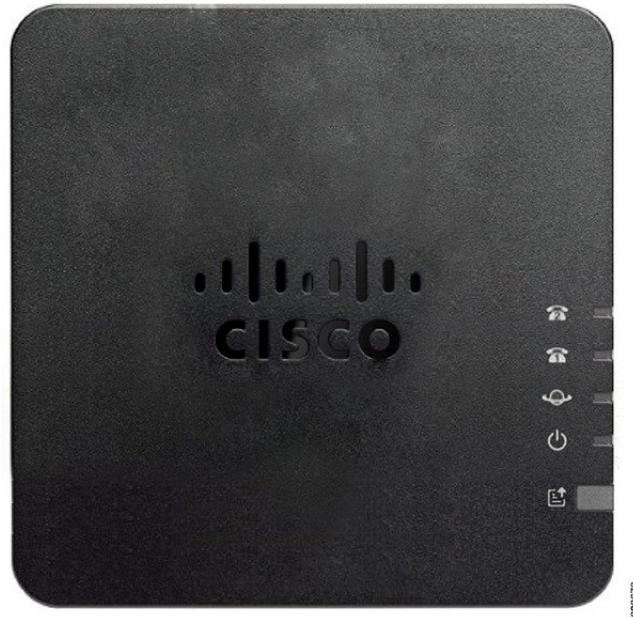







表 1: ATA 191 および ATA 192 上部パネルの項目

項目	説明
電源 LED 	<p>緑色で点灯：システムが正常に起動しており、使用の準備ができています。</p> <p>緑色でゆっくりと点滅：システムが起動中です。</p> <p>緑色で3回すばやく点滅してから繰り返し：システムが起動に失敗しました。</p> <p>緑色ですばやく点滅：LEDの動作は次の状況で発生します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 工場出荷時の状態へのリセットが検出されたとき。 工場出荷時の状態にリセットするには、RESET ボタンを10秒間長押しします。 工場出荷時の状態へのリセットが正常に実行されます。 <p>消灯：電源はオフです。</p>
ネットワーク LED 	<p>緑色で点滅：WANポートを介してデータを送信/受信中です。</p> <p>消灯：リンクがありません。</p>

項目	説明
電話 1 LED 電話 2 LED 	<p>緑色で点灯：オンフックです。</p> <p>緑色でゆっくりと点滅：オフフックです。</p> <p>緑色で3回すばやく点滅してから繰り返し：アナログ デバイスの登録に失敗しました。</p> <p>緑色ですばやく点滅：工場出荷時の状態へのリセットが正常に実行されます。</p> <p>消灯：ポートが設定されていません。</p>
問題レポート ツール (PRT) ボタン 	<p>問題レポート ツールを使用して問題レポートを作成するには、このボタンを押します。</p> <p>(注) このボタンは電源ボタンではありません。このボタンを押すと問題レポートが生成され、システム管理者のサーバにアップロードされます。</p>
問題レポート ツール (PRT) LED 	<p>オレンジ色で点滅：PRT は問題レポートのデータを準備しています。</p> <p>オレンジ色ですばやく点滅：PRT は HTTP サーバに問題レポートログを送信中です。</p> <p>5 秒間緑色に点灯してから消灯：PRT レポートは正常に送信されました。</p> <p>緑色ですばやく点滅：工場出荷時の状態へのリセットが正常に実行されます。</p> <p>赤色で点滅：PRT レポートのエラーが発生しました。PRT ボタンを1回押して点滅をキャンセルし、もう一度押して新しいPRT をトリガーします。</p>

問題レポート ツール ボタン

問題レポートツール (PRT) ボタンは、ATA の上部パネルにあります。PRT ボタンを押すと、ネットワークのトラブルシューティング用にログファイルが作成され、サーバにアップロードされます。

アナログ電話のユーザには、ATA デバイスの PRT ボタンを押して PRT ログ ファイルの処理を開始するよう指示できます。

ATA から PRT ログ ファイルをアップロードするには、次のいずれかを行う必要があります。

- ATA から PRT ログ ファイルをアップロードするための HTTP サーバを設定します。
- ニーズに最適なカスタマー サポート用アップロード URL を設定し、ATA に適用します。

ATA 191 および ATA 192 背面パネル

次の図は、ATA の背面にあるさまざまなポートとボタンを示しています。

図 2: ATA 191 背面パネル



図 3: ATA 192—背面パネル

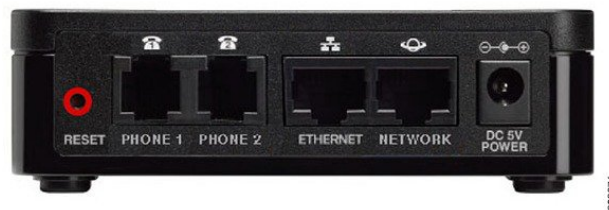


表 2: ATA 191 および ATA 192 背面パネルの項目

項目	説明
リセット	<p>ATA を再起動するには、ペーパークリップなどを使用し、このボタンを短く押します。</p> <p>出荷時のデフォルト設定にリセットするには、10 秒間押し続けます。</p> <p>工場出荷時のリセットの LED 動作:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ボタンを約 10 秒間押し続けると、電源 LED が緑色ですばやく点滅します。 2. 工場出荷時のリセットが正常に実行されると、すべての LED が約 5 秒間緑色ですばやく点滅します。
電話 1	RJ-11 電話ケーブルを使用して、アナログ電話や FAX 装置に接続します。
電話 2	RJ-11 電話ケーブルを使用して、2 番目のアナログ電話や FAX 装置に接続します。
イーサネット (ATA 192 のみ)	イーサネットケーブルを使用して、コンピュータなどのネットワーク上のデバイスに ATA を接続します。

項目	説明
ネットワーク	イーサネット ケーブルを使用してネットワークに接続します。
DC 5V 電源	付属の電源アダプタを使用して電源に接続します。

新しい ATA をインストール

ATA には、電源供給から、ネットワーク接続、および卓上配置用のマウントまで必要な部品がすべて付属します。

始める前に

設置を開始する前に、次の品目が揃っていることを確認してください。

- ネットワークに接続するためのイーサネット ケーブル。
- ATA に接続するアナログ電話機や FAX 装置。
- 電話機を接続するための電話ケーブル。
- バックアップ電源を提供するための無停電電源装置 (UPS)。

手順

-
- ステップ 1** ネットワークと ATA の NETWORK ポートの間をネットワーク ケーブルで接続します。
- ステップ 2** ATA 上の PHONE 1 ポートとアナログ デバイス (電話機または FAX 装置) とを電話ケーブルで接続します。
- ステップ 3** ATA 電源ケーブルを ATA の DC 5V POWER ポートに接続し、電源ケーブルを電源に差し込みます。
-

電話アダプタ構成ユーティリティ

[電話アダプタ構成ユーティリティ (Phone Adapter Configuration Utility)] Web ページを使用して、一部の電話機能を構成またはカスタマイズできます。このページの URL、ユーザ ID およびパスワードは管理者から与えられます。

[構成ユーティリティ (Configuration Utility)] ページでは、ネットワークおよび管理設定のほか、ファームウェアバージョン、シリアル番号、メモリ使用量などの ATA に関する基本情報を表示できます。

多くのユーザは、[電話アダプタ構成ユーティリティ (Phone Adapter Configuration Utility)] ページを使用して、短縮ダイヤルやコール転送などのいくつかの基本機能を設定します。これらの機能を設定するには、次の表を参照してください。

[電話アダプタ構成ユーティリティ (Phone Adapter Configuration Utility)] Web ページから構成する電話機能を次の表に示します。

表 3: 構成ユーティリティ機能

特長	説明
コール転送および選択的コール転送。	<p>電話機でコール転送が有効になっている場合に、コールを受信する番号を指定します。[設定ユーティリティ (Configuration Utility)] ページを使用すると、より複雑なコール転送機能 (回線がビジー状態の場合の動作など) をセットアップできます。</p> <p>詳細については、コール転送の設定 または 選択的なコール転送の設定 および 電話アダプタ構成ユーティリティを使用した電話機能の設定 を参照してください。</p>
短縮ダイヤル。	<p>回線に電話番号を割り当てると、その相手にすばやくコールをかけることができます。</p> <p>詳細については、スピードダイヤルの設定 および 電話アダプタ構成ユーティリティを使用した電話機能の設定 を参照してください。</p>
補足サービス。	<p>コール待機、応答不可、着信 ID などの機能を構成します。</p> <p>詳細については、補足サービスの設定 および 電話アダプタ構成ユーティリティを使用した電話機能の設定 を参照してください。</p>
固有呼び出し音	<p>電話番号または回線に特定の呼び出し音を割り当てることができます。</p> <p>詳細については、固有呼び出し音の設定 および 電話アダプタ構成ユーティリティを使用した電話機能の設定 を参照してください。</p>

特長	説明
呼び出し音の設定	<p>コールの保留中やコールバック中など、特定の状況に特定の呼び出し音を割り当てることができます。</p> <p>詳細については、「呼出音設定」および「電話アダプタ構成ユーティリティを使用した電話機能の設定」を参照してください。</p>

サポートされる ATA 通話機能

システムの構成に応じて、ATA では以下のコール機能の一部またはすべてがサポートされます：

- 転送（在席または監視）：このタイプの転送では、転送が完了する前に転送先の相手と通話します。
- 転送（不在または非監視）：このタイプの転送では、その時点で転送が完了し、転送先の相手が応答する前に切断します。
- 私がプレゼンする可能性はありません
- 保留と保留解除。
- 発信者 ID。
- コール待機。
- コールピックアップ。
- 短縮ダイヤル。
- 保留音。
- 共有回線。
- ボイスメール：この機能には視覚的なインジケータがありません。受話器を上げた時にメッセージ待機音が聞こえる場合は、ボイスメッセージがあることを示しています。大型 LCD 画面のある一部のアナログ電話機では、ボイスメールアイコンが表示されることがあります。
- コール転送。
- リダイヤル。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。